

**「奄美・琉球」世界自然遺産登録
に向けた環境部の取組について**

**平成28年4月20日
沖縄県環境部自然保護課**

世界自然遺産登録の推薦に向けて

世界自然遺産登録の推薦にあたり、「遺産価値を証明するための推薦書」及び「遺産価値を保全するための管理計画」を作成する必要がある。

推薦書

平成25年度の成果概要

① インベントリー（生物種の種目録）の作成

推薦書作成に必要な基礎データ整理のためインベントリー（生物種の種目録）を作成した。

② イリオモテヤマネコの生息分布データの整理

イリオモテヤマネコの生息分布状況について、総合的な情報が不足していることから、島全体の生息状況を取りまとめた。

管理計画

○包括的管理計画(方針)(国)

○地域別行動計画(具体的な計画)(県)

平成26年度の成果概要

自然環境の利用と保全の現状及び将来の利用予測調査

世界自然遺産登録に向けて、自然環境の利用と保全の現状と将来の利用予測を行い、課題の整理を行った。

平成27年度の実施概要

① 地域との連絡調整・合意形成の場として、やんばる及び西表島それぞれの推薦地域に地域部会に先立ち、勉強会を実施。

② 世界遺産登録基準である地域別行動計画(イメージ)を策定する。

③ イリオモテヤマネコの交通事故防止対策に関する基本計画(案)を策定する。

世界自然遺産の登録推薦

地域別行動計画とは

遺産価値を保全するために各行政機関や地元による具体的な取組について、有識者からの助言を受けつつ定めるもので、世界自然遺産登録のために必要。

地域別行動計画

※ 環境部が重点的に取組む項目

1) 保護制度の適切な運用

遺産区域の国立公園化、等

2) 希少種の保護・増殖

ヤンバルクイナの保護増殖、ヤンバルテナガコガネ密漁防止パトロール等

3) 外来生物による影響の排除・軽減[※]

ノイヌ・ノネコ対策、マングース対策等

4) 緩衝地帯やその周辺地域における産業との調和

大宜味村地域生物多様性保全計画の実施等

5) 適正利用とエコツーリズム[※]

森林ツーリズムの推進体制の構築、拠点整備構想の検討等

6) 地域社会の参加・協働による保全管理

希少種保護パトロール、広報誌による情報発信等

具体的な取組

遺産価値の保護管理に関しては、推薦書本体にも記載される項目で、その具体的な取組みについては、推薦書提出前(平成28年9月)から継続的に実施する必要がある。

そのため、以下項目について、事業実施を予定しております。

地域別行動計画

赤字は世界自然遺産登録推進事業で実施予定。
黒字は継続事業。

地域別行動計画の策定

3) 外来種による影響の排除・軽減

- 1 **イリオモテヤマネコ交通事故防止対策の検討**
- 2 **ノイヌ・ノネコ対策の検討**
- 3 **マングース駆除等(マングース対策事業、北上防止策維持管理業務)**
- 4 **グリーンアノール捕獲手法の開発、外来種対策指針策定に向けた各種調査の実施(外来種対策事業)**

5) 遺産価値の保全と持続可能な観光利用との両立

- 1 **拠点整備構想の検討**
- 2 **普及啓発の推進等**